

hitoyoshigram

ヒトヨシグラム

Instagramで#oh_hitoyoshiを付けて投稿された写真を紹介します。



#華まき温泉 #桜

@miwamiwa94 さん

人吉市公式 Instagram @hitoyoshi_city をフォローし、#oh_hitoyoshi を付けてお気に入りの人吉を投稿しよう！

すてきな人吉のひとコマを世界に広めていきましょう。

人吉市公式 Instagram @hitoyoshi_city



市長日記

Vol.94



令和6年度がスタートし、入学式、歓迎会、総会と世の中の動きが活発化しています。球磨川の川開き祭や民謡民舞九州地区大会の開催など、文化・観光面のうれしい動きもあっています。復旧復興関係では、紺屋町の土地区画整理事業の工事が始まります。

このような社会の動きの中で一番うれしいことは、皆さんと直接顔を合わせて話ができることです。4月にくらし見守り相談員さんに委嘱状を交付しましたが、コ

ロナで人との交流が希薄になった中で、また災害で環境が変わった中で、不安に思われる方を支えていただいたのは、同相談員さんをはじめ、町内会長さんや役員さん、民生委員・児童委員さんなど、地域福祉向上のため昼夜を問わず活動されている方々です。改めてそ

のご尽力に感謝を申し上げます。今年度を地域福祉復活元年と位置付け、住み慣れた地域で安心して過ごせるまちをつくっていききたいと思えます。

No.36

問 市商工観光課 (☎22-2111 内線2132)

ひとよしの お仕事



人吉市にはたくさんの事業所があり、生き生きと働く人たちが町を活気づけています。このコーナーでは、市内で働く若者を紹介します。掲載希望事業所を募集しています。ぜひお問い合わせください。

製造部に所属していて、米を蒸してこうじ菌を加えて発酵させ、蒸留して焼酎になるまでの製造が担当です。こうじ菌は生き物なので、菌が活動しやすい温度管理の徹底を心掛けています。また、焼酎は蔵人の思いが味となって現れると考えていますので、心を込めて作ることを大切にしています。試飲の時の「おいしい」という声や造った製品をスーパーで手に取られているお客さまを目にしたときにやりがいを感じます。「織月」や「川辺」といった代表銘柄はもちろん、色や香りが特徴のたる貯蔵の焼酎造りにも積極的に取り組んでいきたいです。



くろひじみづき 黒肥地 美月 (31) 球磨郡錦町

織月酒造株式会社



所在地：新町1番地
創業：明治36年10月
代表者：堤 純子
社員数：27人
事業内容：本格焼酎・リキュール・スピリッツの製造・販売
☎22-3207

地域防災官の

市地域防災官による災害への防災意識や命を守る方法のお話を紹介します。

問 市防災課防災係 (☎22-2111 内線3241)

命を守る話



市地域防災官 深江 政友

～警報・注意報と特別警報～

5月に入り今年も梅雨に向けて準備をする時季となりまりました。今回は、改めて「警報・注意報・特別警報」についてお話します。

気象庁は、重大な災害が起きる恐れがあるときには「警報」を、災害が起きる恐れがあるときには「注意報」を発表します。警報や注意報は、予想される現象が発生する3～6時間前に発表され、短時間の強い雨に関する大雨警報・注意報や洪水警報・注意報は約2～3時間前に発表されます。警報が夜間や早朝に発表される可能性があるときは、夕方に注意報を発表し、その中で警報が

発表される可能性がある時間帯が示されます。このように時間に余裕をもって発表されるのは、防災機関や住民に伝わって避難行動を取るまでにかかる時間を考えてあるからです。

「特別警報」は警報の発表基準をはるかに超え重大な災害が発生する恐れが著しく高まっている場合に発表されます。特別警報が発表された場合、その地域は「数十年に一度しかないような非常に危険な状況」なので、市町村から発令される「緊急安全確保」などの情報に注意し、「ただちに命を守るための行動」をとる必要があります。

これから、出水期を迎えることとなりますが、今一度、警報・注意報、そして特別警報の意味を整理して、「自分のとるべき行動」をチェックしておきましょう。

災害の危険性	特別警報とは	
	特別警報	重大な災害が発生する恐れが著しく大きいときに発表
	警報	重大な災害が発生する恐れがあるときに発表
	注意報	災害が発生する恐れがあるときに発表

川畑式

脳パズル Q.13

タテヨコかこんで「10」（中級編）
足し算をしながら、縦か横に真つすぐ進み、「ぴったり10」になるように数字を囲みましょう。足し算の途中で曲がることはできません。

3	2	3	2	5
7	3	5	2	1
9	1	5	2	2
1	3	6	4	1
2	1	7	2	1

答えは33分！

マス内の全ての数字を使い切りましょう。一度使った数字を再度使うことはできません。落とし穴もあるので、危ないところは後回し。



川畑智さん。熊本県を拠点に、病院・施設で認知症予防や認知症ケアの実践に取り組むとともに、全国各地での講演活動にも力を注ぎ、介護予防の普及啓発活動や研究活動を行っている